

## 東京都地域医療構想に関する意見交換

東京都地域医療構想では「東京の『2025年の医療～グランドデザイン～』」として「誰もが質の高い医療を受けられ、安心して暮らせる『東京』」を掲げ、その実現に向けた4つの基本目標を定めることにしています。

周産期医療については、東京都保健医療計画や東京都周産期医療体制整備計画に基づき、これまでも周産期医療協議会等の場で様々なご意見をいただきながら取組みを進めてきたところです。

今般、2025年の東京の医療を考えるにあたり、それぞれの基本目標に関連して、将来を見据えた視点での、あるべき東京の周産期医療の課題や今後進むべき方向性など、ご意見を頂戴したいと存じます。

### 【論点例示】

#### 基本目標Ⅰ関連

- ハイリスク妊産婦や新生児に的確に対応できる高度な医療提供機能を持つ周産期母子医療センターとして、今後、担うべき役割や強化すべき役割について

#### 基本目標Ⅱ関連

- 周産期医療体制の課題や今後の方向性について
  - ・1次、2次、3次医療機関のリスクに応じた連携のあり方（オープンシステムやセミオープンシステムの促進、周産期医療ネットワークグループ会議の活用や推進等）
  - ・安全・安心な周産期医療体制の維持のために、搬送体制について考えられる課題や今後、工夫できる点

#### 基本目標Ⅲ関連

- 出産時の母体・新生児の安全確保や妊娠、出産に対する意識の醸成等の普及啓発など予防に対する取組として、今後、工夫できる点
- NICU等を退院した児の在宅療養を支えるために地域の保健・医療・福祉・教育の関係者による多職種での連携が必要である。多職種連携の方策や工夫できる点

#### 基本目標Ⅳ関連

- 周産期医療を担う人材の確保や在宅療養の支援を担う保健・医療・福祉等に関わる人材を確保するために、今後、どのような工夫が考えられるか
  - ・周産期医療施設やNICU等の従事経験を踏まえた人材活用等
  - ・多様な勤務形態等も含めた勤務環境の改善